

## 海外学生派遣事業報告書

氏名 久保琢磨（情報学専攻）

海外派遣先国 イギリス

海外派遣先大学 ノッティンガム大学

海外派遣先所属 School of Computer Science (The Automated Scheduling, Optimization and Planning (ASAP) research group)

海外派遣期間 2009/9/20 ~ 2009/11/30

### 海外派遣先大学について

イングランドの都市ノッティンガムにある総合大学で、ノッティンガムに住む人口(約 30 万人)のうちの 10%がこの大学の学生である。イングランドの他に、中国とマレーシアにもキャンパスがあるためか、特に中国人の学生が多かった印象を受けた。私の所属した ASAP も、イギリスだけでなく、世界中の研究者や学生が集まっており、私の場合、イギリス人よりもスペイン系の方々と知り合う機会が多かった。

### 海外派遣前の準備

私の研究は、ホテルや病院などでみられるスタッフの勤務状況をあらわす勤務スケジュールを、コンピュータを用いて自動で作成するシステムを開発し、さらに中小の職場でも容易に適用できる形にすることである。ASAP には、勤務スケジュールを効率的に作成する解法(メタヒューリスティクス)に関する研究を行うスペシャリストが多くいる。私自身はメタヒューリスティクスをコアには研究していないが、この部分についてもしっかり学びたいという考えもあり、ASAP に大変興味をもっていた。そこで、ASAP の研究者と連絡をとっている他大学の教授に紹介していただき、ASAP の研究者と連絡を取るようになった。

宿泊先はなるべく出費を抑えたいこともあり、まずノッティンガム大学の学生寮を利用したいと考え、大学の宿泊課と連絡をとった。しかし、私の訪問時期は学生の入学の時期と重なる為、10月の最初の2週間は学生以外に寮を貸すことができないという返事があった。そのため、最初の2週間は安めのホテルを手配し、その後は寮に移動することにした。



私が宿泊したノッティンガム大学の学生寮

## 海外派遣先での研究

派遣期間中，平日の 9 時頃から 20 時頃まで大学で研究していた．

海外派遣先で実施したことは，私の研究について派遣先での指導教官らに発表した後，まず 2 本の論文をいただき，その論文を理解する作業を行なった．1 本目の論文は，大学などの時間割を自動で作成するための解法に関する論文，2 本目はノッティンガム内の病院におけるスタッフの勤務スケジュールを自動で作成するための解法に関する論文である．その後は，1 本目の論文を参考に，時間割作成問題をメタヒューリスティクスで解くためのプログラミングを作成した．次に，2 つの論文を応用し，勤務スケジュール作成問題を様々な手法で解くプログラミングを作成．そして各手法の比較を行なった．指導教官とのミーティングは週に 1 回ペースで実施した．

さらに，ASAP では週 1 回，研究者や学生の研究進捗報告会が実施されており，そのセミナーにも参加した．



大学内でのランチ

## 海外派遣先での語学状況

常用語は英語である．私自身，英語が得意でないため，大変苦労した．しかし，研究でも日常生活でも，皆がとても親切に接してくれたため，有意義な 2 ヶ月間を過ごすことができた．また，ノッティンガム大学での英語の授業にも参加した．

### 海外派遣中に行なった研究以外の活動

大学で知り合った仲間がサルサダンスを習っていたので、私もレッスンに参加させてもらった。参加してみるととても楽しかったので、週一回ペースでサルサを習うようになった(しかもレッスンは無料)。また、よく行動をとにした仲間が皆、活発的であったこともあり、平日夜や週末になるとよくパーティに行った。サルサレッスンやパーティは主にバーで行われるので、バーに行く機会が多かった。ハロウィンパーティの時期とも重なったが、街中が盛大に盛り上がった。その他に、サッカー観戦やアイススケートを楽しんだ。



ハロウィンパーティとアイススケート

### 海外派遣を希望する後輩へのアドバイス

自分自身で全て(日程, 受入先, 研究内容, 宿泊場所など)を計画し, 海外で研究をする・生活する機会は今なかなか得られるものではないと思うし, 学生である間が一番チャンスだと思います。不安もあるかと思いますが, それ以上に得られるものは大きいので, 少しでも興味があれば, 海外派遣事業に応募してみてください!